

新規事業の検討

まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会の経過

現 状：日本全体で人口減少下にある中、おいらせ町においては人口を維持している現状にあるが、地区別にみると人口減少問題が顕著に表れてきており、行政課題の顕在化が予想される。

目 的：将来的に、深刻化する人口減少問題へ対応すべく、解決策となる事業案（地方創生策）を検討するものである。

テーマ：幸福度アップに向けた地方創生策を考える。

手 法：まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会（課長補佐職員 16 名）にて、ワークショップ形式にて事業検討を行った。

講 師：八戸工業高等専門学校 総合科学教育科 河村信治 教授

実施時期：

| No. | 時期 | 内容 | 部署 |
|-----|-------------|--|-------|
| 1 | R3. 8 | ○令和 3 年度第 1 回戦略会議 →組織会、総合戦略の取組経過、検証部会委員の選出、地方創生に関する意見聴取 | 戦略会議 |
| 2 | R3. 9 | ○総合戦略進捗状況（KPI）調査 | 政策推進課 |
| 3 | R3. 10 | ○地方創生関連事業の検証 | 検証部会 |
| 4 | R3. 11 | ○新規事業の検討①（第 1 回幹事会） 「SWOT 分析、クロス SWOT 分析の結果」 | 幹事会 |
| 5 | R4. 1 | ○新規事業の検討②（第 2 回幹事会） 「おいらせの戦略を考慮したクロス SWOT 分析の結果」 | 幹事会 |
| 6 | R4. 2 | ○委員からの意見聴取 →検証部会・進捗状況（KPI）・新規事業検討状況の報告・戦略見直し（案）の報告 | 戦略会議 |
| 7 | R4. 5 ～6 | ○新規事業の検討③（第 3 回幹事会）、まとめ | 幹事会 |

SWOT 分析、クロス SWOT 分析の結果（第 1 回幹事会）

～令和 3 年度第 1 回まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会ワークショップまとめ～

【令和 3 年 11 月 22 日開催 幹事:16 名中、15 名参加】

SWOT(「S」strengths 強み、「W」weaknesses 弱み、「O」opportunities 機会、「T」threats 脅威)分析を活用し、町の強みと弱みについて意見を出し合い共有した。

- ①SWOTマトリクスにより、内部の要因と外部の要因を分析し洗い出す。(SWOT分析)
- ②分析結果をグループで発表し、全体で共有する。
- ③分析を基にし、マトリクスで掛け合わせ、組み合わせし、多面的に分析する(クロスSWOT分析)
(SO戦略、ST戦略を重点的に)
- ④分析結果を全体で共有する。

・SWOT分析

| | 目標達成の助けになる プラス要因 | 目標達成の妨げになる マイナス要因 |
|------|---|-----------------------------|
| 内部要因 | S 強み 例) 施策、特産物、自然環境、 地域資源、人材、立地など | W 弱み 例) 地域の課題、制約条件 |
| 外部要因 | O 機会 例) 国・県の施策、近隣自治体、 地域の資源など | T 脅威 例) 新型コロナ、災害、政策、国際情勢 |



・クロスSWOT分析

| | S:強み | W:弱み |
|------|-------------------------------|-----------------------------------|
| O:機会 | 強みでチャンスをつかみ取る SO戦略 強み×機会 | チャンスで弱みをカバーする WO戦略 弱み×機会 |
| T:脅威 | 強みを活かしてリスクを乗り切る ST戦略 強み×脅威 | リスクに対する弱みの影響を最小限にする WT戦略 弱み×脅威 |

ワークショップで出た主な意見

<SWOT分析>

| | |
|--|---|
| <p>S:強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に恵まれている ・土地が安くて住宅が建てやすい(八戸、三沢と比較して) ・高校進学の実績が多い ・市に囲まれている(八戸市、三沢市、十和田市) ・給食費無料化 ・百石高校がある ・奥入瀬川がある ・北寄貝、だるま芋 ・冬場の雪が少ない ・馬の神社がある(気比神社) ・若い世代が多い ・産業の広がり、すそ野が広い ・近隣へのアクセスが良い | <p>W:弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区によって買い物の利便性が低い ・就労場所が少ない(やりたい仕事、種類が少ない) ・若い世代は多いが、まちづくりへの関心が低い ・長期ビジョンの欠落(単発政策が多い) ・知名度が低い ・空き店舗が多い ・人材がいるようで活かしきれていない ・宿泊施設 ・住民からの苦情や要望 ・環境美化意識 ・奥ゆかしい人が多い ・学びの場が少ない ・ベッドタウンに徹することができないか。あれもこれも政策や予算が散漫になる ・縦貫路線が弱い ・芸術やエンタメが少ない ・おいらせ町といえば“これ”というものがない |
| <p>O:機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域と行き来しやすい ・近隣市に立派な施設がある ・周辺地域に観光資源が多い ・美術館に囲まれている(青森市、八戸市、十和田市) ・高齢化に伴う高齢者人材の活用 ・三沢基地が近い ・農地と居住地のバランス ・サッカースタジアムがほぼおいらせ ・防衛人材需要 ・陸、海、空の交通網 ・奥入瀬溪流が有名 ・八戸圏域、上十三両方に入る ・土砂災害区域ほとんどない | <p>T:脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源少ないため、通勤するだけの自治体になる ・人口減少に伴う税収の減 ・転入者が減ると人口減になる ・イオンが撤退してしまったら… ・津波・洪水など大規模災害と隣り合わせ ・再処理工場、三沢基地など ・鮭の不漁 ・学校GIGAスクールお金 ・米価の下落 |

＜クロスSWOT分析＞

| | |
|--|---|
| <p>SO戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺美術館と連携したアート+おいらせにあるもので町おこし ・駅・空港でおいらせ特産品イベント ・駅・空港から人を呼び込むキャンペーン ・地価やすい⇒施設誘致有利 ・下田駅周辺の再開発 ・非日常を都内住みの人へ提供(カワヨでグランピングなど) ・観光芸術の回遊×砂浜アート・砂浜美術館 ・十和田・八戸美術館と自由の女神像のコラボ ・自衛官増加対策 | <p>WO戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸に来た人がおいらせ町に立ち寄る仕組みづくり ・周辺美術館にあやかってアートで町おこし ・職:八戸市、住:おいらせ町 ・児童・生徒によるカーボンニュートラル ・「ベッドタウンおいらせ」 |
| <p>ST戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいらせクーポンを近隣の宿泊施設におく ・防災訓練をアウトドア・キャンプ場で行う ・デマンド交通のアピール | <p>WT戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した起業家支援 ・大手企業の撤退に備えた新たな企業の誘致 |

おいらせの戦略を考慮したクロス SWOT 分析の結果（第2回幹事会）

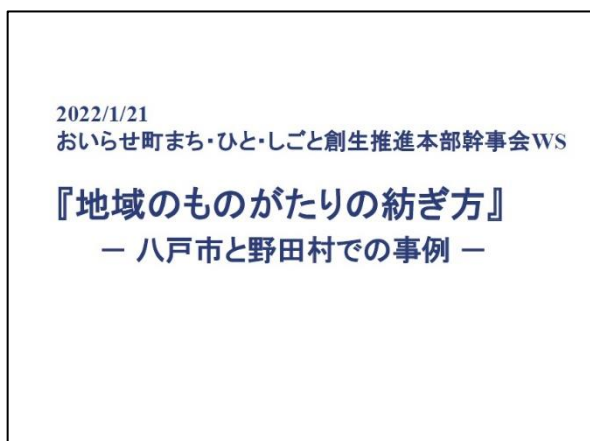
～令和3年度第2回まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会ワークショップまとめ～

【令和4年1月21日開催 幹事:16名中、9名参加】

おいらせ町の戦略(おいらせストーリー)を考えるため、講師の河村教授から「八戸市中心市街地の活性化とストーリーづくり」について、講話いただいた。その後2班に分かれ、ワークショップ形式で再度、町の強みと弱みについて、クロス SWOT 分析を行った。

・河村教授による講話

新規事業検討にあたっての考え方のポイントや、八戸市の中心市街地での活動、震災復興の携わった野田村での活動などについて、講話いただいた。



〈ポイント〉

- ・全く新しい事業を考えるだけでなく、既存のものをどのようにして、より魅力的にしていけるかという視点で考える。
- ・10～15年のスパンで「地域の物語」を作っていく。
- ・求心力があるところには人が集まる。
- ・まち歩きは、お互いの共感をうみ、歩くことで新たな気づきがある。
- ・魅力的な地域づくりをしていけば、おもしろい話(事業、活動など)が舞い込んでくる。
- ・様々なものがフックになり、つながっていく。
- ・良いアイデアは、ぽつとでるものではなく、いろいろなものを紡いで洗練されていくことで生まれる。

・クロスSWOT分析の結果

A班

| | S:強み | W:弱み |
|------|---|---|
| O:機会 | SO戦略 ・安全な町をつくり、人を集める(人口を増やす) ・ベッタウンになるため、災害に強い町づくりを目指す ・町内オブジェウォークラリー | WO戦略 ・中野平に役場、公共施設を集約し、住宅街をつくる ・小さい事業はいらぬ |
| T:脅威 | ST戦略 ・コンパクトシティ推進で人口増を目指す(人口減×好立地を生かす) | WT戦略 ・公民館を活性化する |

B班 (補足・・・強みでチャンスをつかみ取る「SO戦略」を中心とした分析を行った。)

| | S:強み | W:弱み |
|------|---|-------------|
| O:機会 | SO戦略 ・サイクリングロード ・いちよう公園 ・下田公園 ・トレイル(欧米人の参加) ・奥入瀬クリーン ・今ある物事(事業)の付加価値を高める ・下田駅周辺 ・自然遊歩道 ・百石本町関係者がいる ・防災×キャンプ場 ・十和田湖×奥入瀬川 | WO戦略 |
| T:脅威 | ST戦略 | WT戦略 |

新規事業の検討のワークショップ（第3回幹事会）

～令和4年度第1回まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会ワークショップまとめ～

【令和4年5月18日開催 幹事:16名中、8名参加】

各自事業を検討した後、班に分かれ、ワークショップ形式で1つの事業を検討した。事業の検討は、第1回、第2回ワークショップで実施したSWOT分析等の結果を参考にした。

●ワークショップの内容

①今までの振り返り(第1、2回幹事会のワークショップの振り返り)

②個人で事業検討

前回の振り返りを念頭におきながら、各自で事業を検討し、事業シート(個別)を作成した。

③検討した事業ごとにグループ編成

個人で検討した事業を分野ごとに、次の3つのグループに分けた。

【Aグループ】・・・アート(おいらせらしさ、周辺都市との関係)

【Bグループ】・・・起業・就業支援(町内の経済開発可能性、にぎわい中心)

【Cグループ】・・・アウトドア(近隣の資源との相乗、アクティビティ)

④グループで事業検討

グループごとに、個人で検討した事業を基に話し合いを進め、さらに事業を検討し、事業シート(グループ)を作成した。

⑤班ごとに発表、エスキス

グループで検討した事業を発表し、講師や他グループと意見交換等を行った。※エスキス…最終形になるまでのアイディアの出し合い、意見交換。

⑥事業シート(個別・グループ)のブラッシュアップ

最後に、事業シート(個別・グループ)の磨き上げを行い、事務局へ提出した。



▲ワークショップの様子



▲グループで事業検討(Aグループ)



▲班ごとに発表(Cグループ)



▲班ごとに発表(Bグループ)

●グループで検討した事業

| グループ | A | B | C |
|---------------|---|-------------------------------|--|
| 事業概要 | アートを通じた市民交流事業（参加型イベント） ・町中アートをめぐるウォークラリー ・定期的なアート作り体験会 ・アートマップ作成 | 町をPRしてくれる YouTuber を支援事業 | アウトドア体験型のふるさと納税返礼品の開発事業 ・カワヨ〜キャンプ+BBQ ・下田公園、いちょう公園 →グランピング商品化 |
| 事業の種類 | 新規事業 | 新規事業 | 既存事業(磨き上げ) |
| 参考したクロスSWOT分析 | SO 戦略 →十和田、八戸美術館と自由の女神のコラボ | | SO 戦略 →非日常を都内住みの人へ提供 |
| 予想できる事業効果 | ・市民交流 ・観光客の誘致 ・今ある資源の活用 | ・町に興味をもってもらうことで、観光・定住促進につながる。 | ・ふるさと納税の増加 ・来訪する人の増加 ・魅力の発信 |

●個別に検討した事業

| 新規事業 | 既存事業(磨き上げ) |
|--|--|
| ・YouTube 動画配信事業 ・新規就業支援事業 ・桜いっぱい事業 ・グランピング、キャンプ、アウトドア体験 | ・パブリックアート ・アウトドア防災訓練 ・街中アートを探せ ・郷土芸能ツアー |

●まとめ

グループワークにより、「アートを通じた市民交流事業(参加型イベント)」、「町をPRしてくれる YouTuber を支援事業」、「アウトドア体験型のふるさと納税返礼品の開発事業」の素案ができた。

今後の方針

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(地方創生の考え方)が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改訂された。今後は、デジタル関連事業を検討する素材等として活用する。